

2021年4月21日

各関係者各位

那覇国際コンテナターミナル（株）

所長 米田 寛



那覇新港9号係留中「巡視船おきなわ」新型コロナウイルス感染者の発生について

当ターミナル係留中の巡視船おきなわ乗組員1名が新型コロナウイルスに感染していることが、4月20日（火）に判明いたしました。

現在、所轄保健所等の指導により適切に対応を進めております。

<経緯>

4月18日（日）

- 巡視船おきなわ 新港9号接岸
- 当該乗組員を含め、当直（2～3人）を残し全員下船

4月20日（火）

- 当該乗組員、体調不良により病院へ。PCR検査の結果陽性と判明
- 海上保安庁により、所轄「保健所」及び「帰国者・接触者相談センター」等各関係各所へ連絡
- 海上保安庁により、乗組員全員の自宅待機の指示及びPCR検査の実施
- 海上保安庁による本船の消毒を実施

<現在>

- 当該感染者以外の乗組員、全員のPCR検査結果待ち。
- 当該本船出港未定

当該感染者及び他乗組員の下船に関して、当ターミナル内関係者との接触は基本なく、ゲート警備員及び当社職員も接触なしとなっております。

当社としましては、今後も社内外への感染拡大抑止と安全確保を最優先に、関係各所と連携を図り対応してまいります。関係者の皆様におかれましては、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

以上